

かがやく瞳

上越市立南川小学校
学校だより
R 8. 4. 17



みんなで作る「幸せな場所」

校長 新井 慎一

4月から南川小学校に赴任しました、校長の新井慎一です。どうぞよろしくお願いいたします。4月7日の新任式、始業式。そして、4月8日の入学式では31人のかわいい新1年生を迎え、全校193人の子どもたちと30人を超えるスタッフで、令和8年度の教育活動がスタートしました。ここで学ぶ子どもたちにとっても、ここで働く教職員にとっても、ここで暮らす保護者や地域の皆様にとっても、幸せな場所となるような南川小学校をみんなで作っていきたいと思います。

南川小学校がみんなにとって幸せとなるよう、今年度も、教育目標「豊かな心と生きてはたらく力を育てる」の下、重点目標「お互いを認め合い、協働的に活動する子どもの育成」の具現を目指して、様々な教育活動を展開していきます。自己の心身の成長への気付きと喜び、友達と課題を成し遂げる大切さやすばらしさを実感してほしいと願っています。

始業式では、「一人一人が『一歩前へ』の思いを大切にチャレンジし、ワクワクする南川小学校をつくっていこう」と呼び掛けました。入学式では、「当たり前の『あ』、命の『い』」を大切にして、文字通り、あい（愛）あふれる毎日を仲間と過ごす」ことを約束しました。



当たり前の『あ』

「素敵なあいさつを自分からする」「朝起きて朝ご飯を食べて学校に来る」「学校へ行く支度を自分でする」など毎日すること



命の『い』

「交通事故にあわないで学校に来る」「学校の廊下を歩く」「手洗いやうがいをする」「のどが渇く前に水を飲む」など自分の命を守るとともに、友達や生き物の命を大切にすること

さっそく、朝の登校時には、班長が後ろを振り向きながら下級生に合わせて歩く速さを調節したり、横断歩道を渡る際に声がけをしたりする姿、1年生教室を覗くと、6年生が1年生の朝の準備の手伝いや読み聞かせをする姿、給食の片付けを一緒にする姿が見られました。一人一人が学級や他学年の友達に寄り添いながら、友達や自分を大切にして学校生活を送る様子がうかがえ、心がほっこり温まります。職員一同、子どもたちの幸せのため精いっぱい指導・支援に努めます。保護者、地域の皆様からのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

